

※第5回国連ESDの10年最終年會合に向けたワーキンググループ
(6/17)配付資料【資料6】

あいち・なごや宣言 ユネスコ事務局骨子案

1. 共通理解

ESDの重要性について

- ・ ESD は世界が直面している取り組むべき課題と教育を関連づけ、教育の質の向上に貢献する極めて重要な方法である
- ・ ESD は個人及び社会に力を与え、知識、技術、態度、価値を提供する
- ・ ESD は持続可能な開発のための行動（貧困削減、気候変動、生物多様性、防災教育、持続可能な生産と消費等）を促進する
- ・ ESD は世界各国及び全地域に関係する
- ・ ESD は小島嶼国の住民等の脆弱なグループに特に影響を与える
- ・ ESD がポスト 2015 アジェンダに含まれることの重要性を認識する

DESDについて

- ・ DESD の成果を讃える（特に、国と国際アジェンダでの強化、政策への反映、多くの優良事例）
- ・ ステークホルダー及び関係者の功績、貢献及びコミットメントを認識する
- ・ 残された課題を認識する

グローバル・アクション・プログラム（GAP）について

- ・ ESD の規模拡大の重要性
- ・ グローバル・アクション・プログラムで提示された ESD の 5 つの優先行動分野の重要性

2. 行動への呼びかけ

全てのステークホルダーへの呼び掛け

- ・ グローバル・アクション・プログラムの 5 つの優先行動分野における行動の促進及び実施
- ・ 教育と持続可能な開発のステークホルダーとのパートナーシップの構築及び ESD 実施のためのマルチステークホルダーのアプローチの動員

特に加盟国への呼び掛け

- ・ 教育政策及び持続可能な開発の政策に ESD を導入し、ESD の支援的な政策環境を整える
- ・ ESD は教育の目的の一部として、また、関連する持続可能な開発の全ての目標にわたってポスト 2015 アジェンダの主要な要素であることを確実にする

ユネスコへの呼び掛け

- ・ 加盟国、国連機関及びステークホルダーと密に協働しながら、グローバル・アクション・プログラムの実施を調整する
- ・ ESD の行動の規模拡大のため、加盟国及びステークホルダーへの支援を促進する
- ・ グローバル・アクション・プログラムに貢献するため、ユネスコスクール、ユネスコチェア、ユネスコエコパークを含むネットワークを動員する

あいち・なごや宣言について

1. 宣言の位置づけ
世界会議の成果物の一つ
【他の成果物】
 - ・ the Global Action Programme on ESD (GAP) へのコミットメント
 - ・ General rapporteur' s summary
 - ・ Summary of the proceedings
2. コンセプト
 - ・ ESD 及び GAP の実施に対する政治的コミットメントを明白に再確認する。
 - ・ 世界会議の目的に従い、「教育の質の向上」のための重要な要素であり、持続可能な開発の推進に資するものとして、ESD をハイライトする。
 - ・ 国連「ESD の 10 年」の成功と課題を承認し、ポスト 2015 のアジェンダへ ESD を繋げる。
3. プロセス
世界会議に至るまでの間に透明な協議プロセスにて案が作成され、同会議にてまとめられ、承認される。
4. 分量
宣言は簡潔で、焦点を絞り、2 ページを越えないものとする。GAP がすでに承認されているので、戦略を記載した長い文書は不要。
5. General rapporteur
General rapporteur がドラフトを補助する。加えて、同人が閉会式にてサマリーを提供。
6. スケジュール
 - 6 月： ISG 会合での検討
 - 7 月-8 月： オンライン検討
 - 9 月： ドラフティングメンバーによる検討
 - 11 月： 世界会議にて発表
7. ドラフティングメンバー
ISG 委員 3 名（佐藤委員を含む）

ESDに関するユネスコ世界会議の成果について（ユネスコ事務局案）

「ESDに関するユネスコ世界会議」では、「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」の具体的な実施に向けて、各ステークホルダーがESDを更に強化し、そのための行動を起こすことを宣言する文書を採択する予定。

あいち・なごや宣言

ESDに関するグローバル・アクション・プログラム

「国連ESDの10年」の後継プログラムとして位置付け、下記5点を優先分野として2015年以降のESDの取組を推進する。

各ステークホルダーからのコミットメントは、テンプレートを用いて収集される。

